

令和元年度 事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで(第15期)

特定非営利活動法人シニア総合研究協会

1 事業の成果

- ◇ 新型コロナウイルスによってゆうゆう館が休館、協働事業のサロンが休講となり、入館者数、サロン参加者数とも大幅に減少しました。入館者は対前年比2,421名減少、サロン参加者数は880名減少となりました。
- ◇ サロンの開催回数476回は、対前年比63回少なくなりました。サロン1回当たりの平均参加者数は前年とほぼ同じ人数となっております。
- ◇ 荻窪東保育園との交流会（地域交流会）は本年も2度実施し、好評でした。ウイークエンド講座は、本年度4回開催し、いずれも大勢のご参加がありました。サロンまつりは過去最多の参加者数135名を記録しました。サロン活動を通して地域交流へと繋げています。
- ◇ 杉並区保健サービス課との協働事業の認知症予防教室はゆうゆう館受託後、毎年実施し、今期14回目となります。今回、初の試みで「読み聞かせ」から「落語」に変えて実施し、修了生15名を輩出した。
- ◇ 新型コロナによる休館・休講にも関わらず、経営基盤が安定したため黒字の決算となりました。

2 事業の実施に関する事項

事業名	内 容	実 施 時 日	実 施 所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	支出額 (千円)
地域社会参加に関する啓発を通じた社会教育事業	地域社会への実質的新規参入者に対して「地域への軟着陸」の意義の理解を促進し、地域住民としての充実に向けて活動することへの動機付けをはかる。「認知症予防教室」は、確実に成果を積み上げてきている。	9～12月 各月1～4回	区立 杉並保健所 他	5人 〃	杉並区の退職者・転入者 165人	408
社会活動に関する情報提供事業	地域への理解を深め、地域での仲間作りを成功させるための学習機会としてのさまざまな場、を開設・運営する。	4～3月 随時	区立 ゆうゆう 荻窪東館他	3人	杉並区の退職者・転入者 156人	53
新しい役割・課題の発見と確定に伴う研究・学習機会提供事業	自分自身の役割・課題を絞り込み、それぞれの目的に添った団体の結成を意図する人への支援を念頭に置きながら多彩なテーマのサロンを開設・設営する。2タイプあり、一つはNPOメンバー自身が講師やファシリテーターを担当するもの、もう一つは、専門講師を招聘して運営するものである。	4～3月 月45回程	区立 ゆうゆう 荻窪東館他	40人	杉並区の退職者・転入者 5,546人	2,970
社会参加に関する普及啓発事業	積極的に社会参加しようとする人のための呼びかけを行うために、ホームページやチラシ配布・DM郵送など。	4～3月	区立 ゆうゆう 荻窪東館	6人	上記事業参加者を含め、 5,867人	872
行政の施設の運営管理受託事業	杉並区立ゆうゆう荻窪東館の管理運営	4～3月	区立 ゆうゆう 荻窪東館	7人	施設利用者 16,127人	8,383